



Open Innovationを加速させる free の金融機関連携の取組

free 株式会社

佐々木大輔 sasaki@free.co.jp
木村康宏 ykimura@free.co.jp

Agenda



- 金融機関と free のビジョン
- free の直近の金融機関とのOIの取組
- 我が国の fintech 活性化に向けて

金融機関と free のビジョン

スモールビジネスに
携わるみんなが、
創造的な活動に
フォーカスできるよう



2012年 7月創業

従業員は 200人超

累計資金調達額 62億円以上

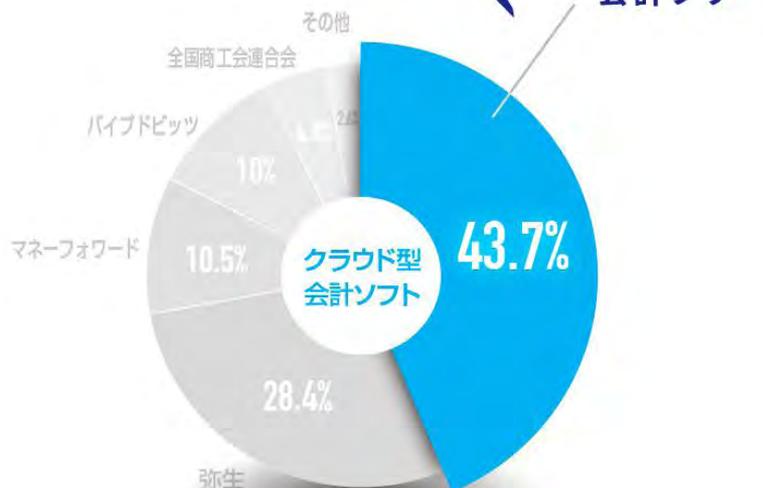
(シリコンバレーVC等含む)

クラウド会計ソフト free 急成長中



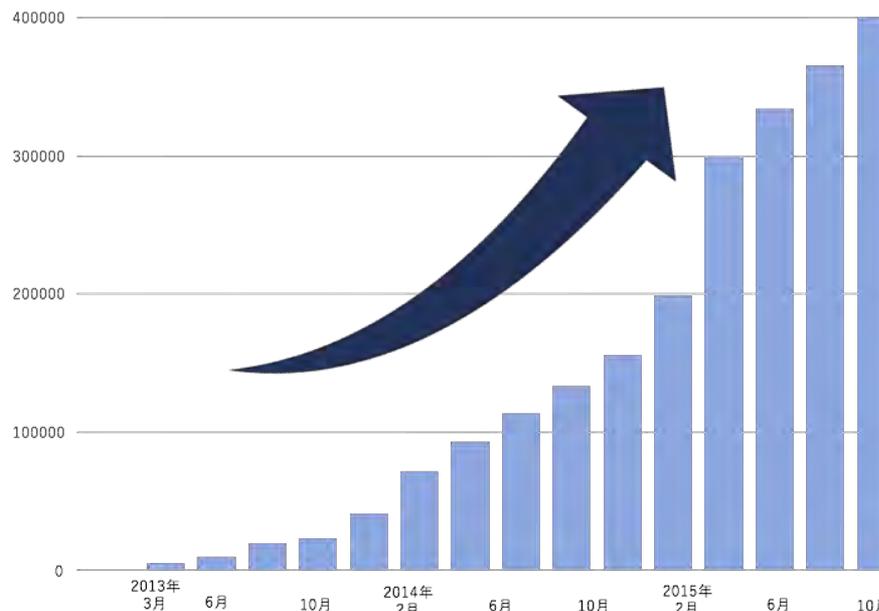
クラウド会計におけるシェアは **No.1**
有効事業所数は **60万事業所** を突破

クラウド会計ソフト市場
マーケットシェア*
(法人・個人)



free 登録事業所数 (2016年3月)

会計ソフトおよび給与計算ソフトの利用を
目的として登録した事業所のみをカウント



ビジネスのはじまりから成長を すべてサポートする freee



GOOD DESIGN
AWARD 2015
BEST
100



会社設立 freee

(2015年6月リリース)



クラウド 会計ソフト freee

(2013年3月リリース)



クラウド 給与計算ソフト freee

(2014年5月リリース)

☆ はじめる

いつでもどこでも
5分で会社設立
モバイル完全対応

ひ 運営する

業務をカンタンに自動化できる
シェアNo.1の
クラウド会計ソフト

↑ 育てる

給与事務と労務事務を
1クリックに
マイナンバーもお任せ



クラウド完結型社会と金融機関

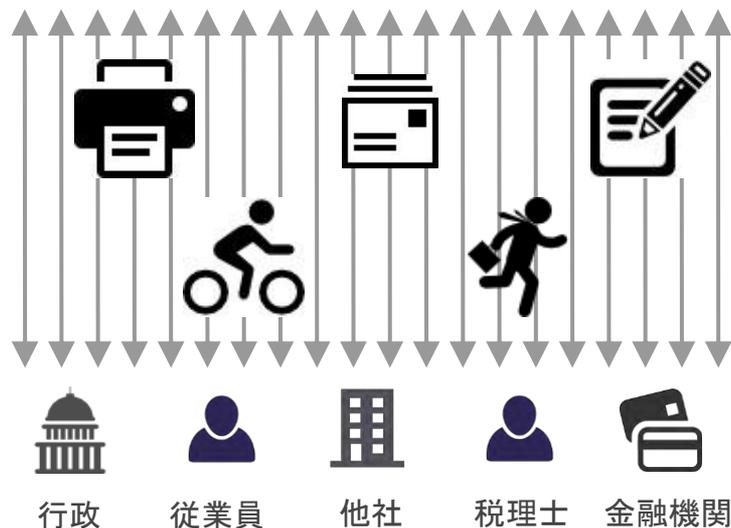
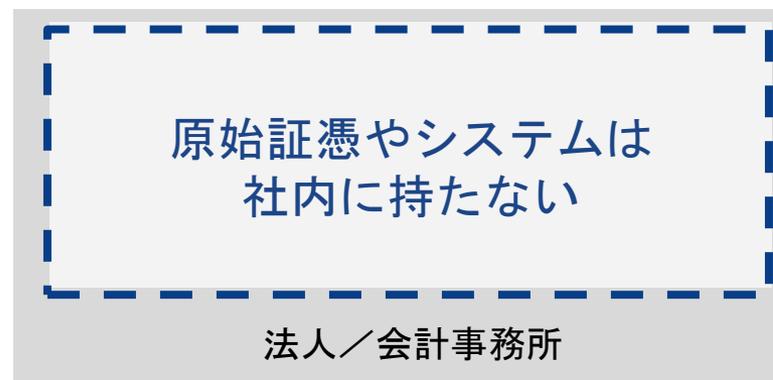


必要な業務やデータ管理を全てクラウドで完結させることで中小企業が場所は規模に関係なく生産性を劇的に改善。その重要なピースが金融機関。

現在



クラウド完結型社会



**free の直近の金融機関との
Open Innovationの取組**

着々と進むfreeの金融連携



2016年10月時点で**15の金融機関と連携**

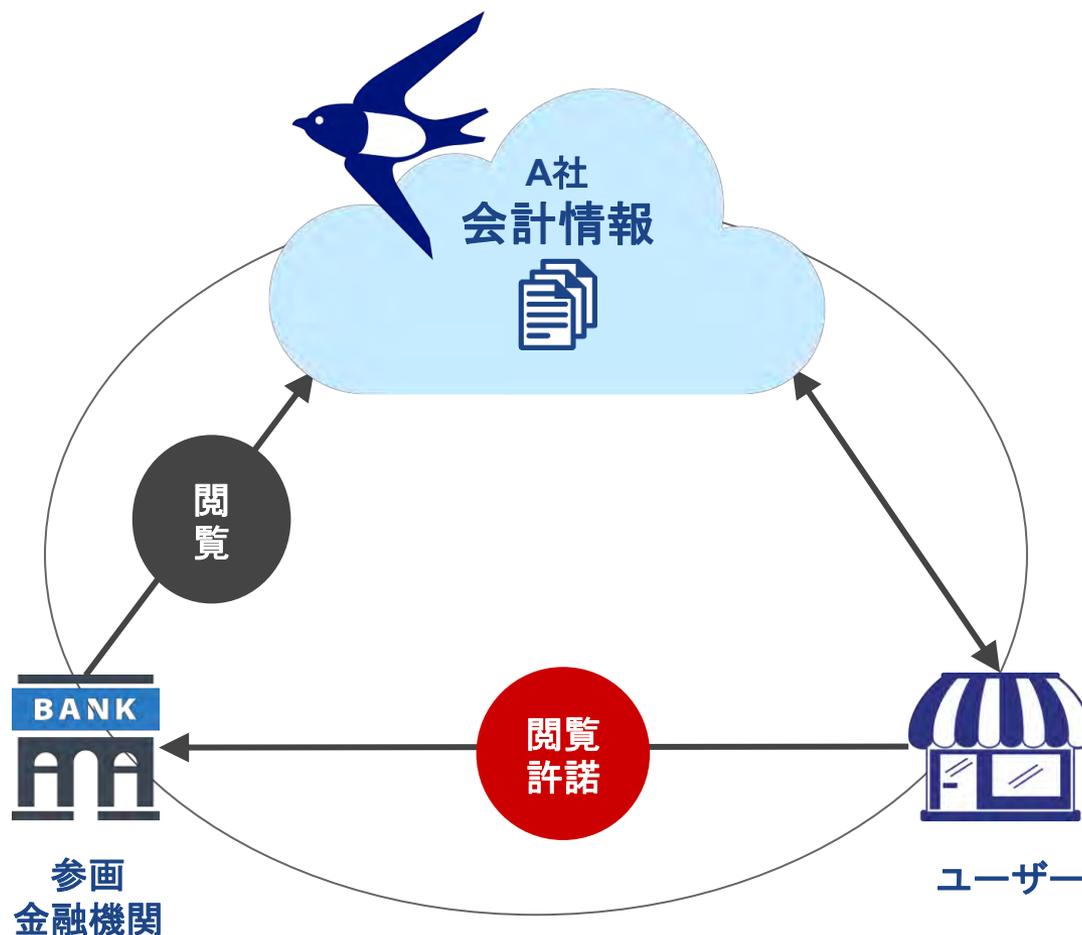


金融機関との連携の推進



金融機関専用アカウント(β版)提供開始

希望するfreeユーザーは特定の金融機関とデータ共有が行える。



北國銀行とのクラウド推進の取組



会計 free を活用した取引先の業務改善コンサルを推進

地方創生、中小企業生産性向上のための

クラウド活用セミナー

参加費 無料

クラウドが企業と仕事を変えた！
地方企業のチャンス到来！

ICT活用によるビジネスの課題解決を解るセミナーを開催します。
業務効率を上げる、情報共有を強化する—【コスト削減】にとどまらない
ICT活用を成功事例をもとに提案する本セミナーに是非ご参加ください。

第1回 金沢会場

H28 2/4 木 9:00~16:00
(受付開始 8:30)

会場 株式会社北國銀行本店
3階大ホール (国庫・3階大ホールへお越し下さい)

定員 200名 参加申込先着順受付、
1社複数名参加可

申し込み締切 H28 2/1 日

第2回 小松会場

H: 2



北國銀行

新戦略

ITで取引先の課題解決

「生産性向上を図る。売上を伸ばす。顧客満足度を高める。これらは、企業にとっての課題であり、成長の鍵となる。北國銀行は、これらの課題を解決するために、ITを活用した新しい戦略を打ち出す。クラウドを活用した業務改善を推進し、取引先の生産性を向上させる。また、AIを活用した顧客対応を実現し、顧客満足度を高める。これにより、北國銀行の競争力を高め、持続可能な成長を実現する。」

北國銀行は、ITを活用した新しい戦略を打ち出す。クラウドを活用した業務改善を推進し、取引先の生産性を向上させる。また、AIを活用した顧客対応を実現し、顧客満足度を高める。これにより、北國銀行の競争力を高め、持続可能な成長を実現する。

北國銀行

コンサル業務始動

「記者メモ」

北國銀行は、ITを活用した新しい戦略を打ち出す。クラウドを活用した業務改善を推進し、取引先の生産性を向上させる。また、AIを活用した顧客対応を実現し、顧客満足度を高める。これにより、北國銀行の競争力を高め、持続可能な成長を実現する。

「記者メモ」

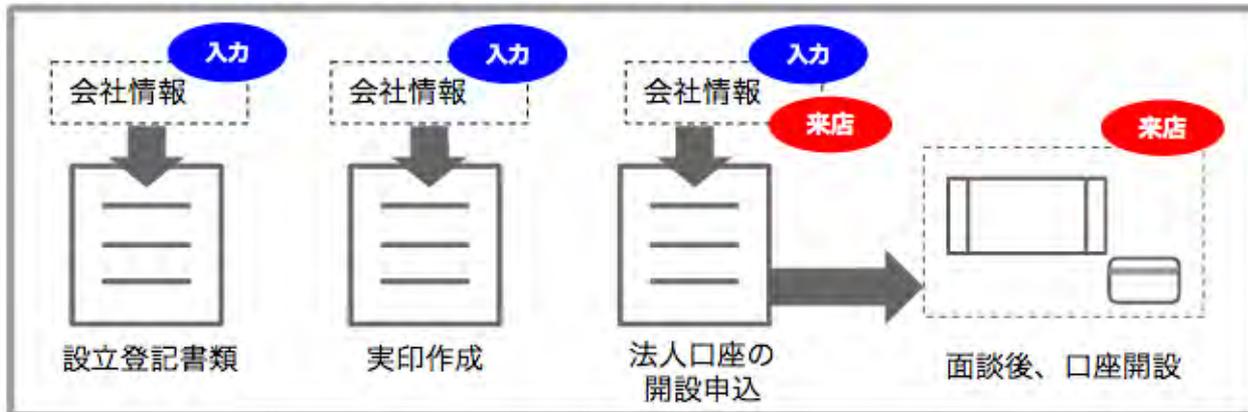
北國銀行は、ITを活用した新しい戦略を打ち出す。クラウドを活用した業務改善を推進し、取引先の生産性を向上させる。また、AIを活用した顧客対応を実現し、顧客満足度を高める。これにより、北國銀行の競争力を高め、持続可能な成長を実現する。

みずほ銀行との起業支援の取り組み

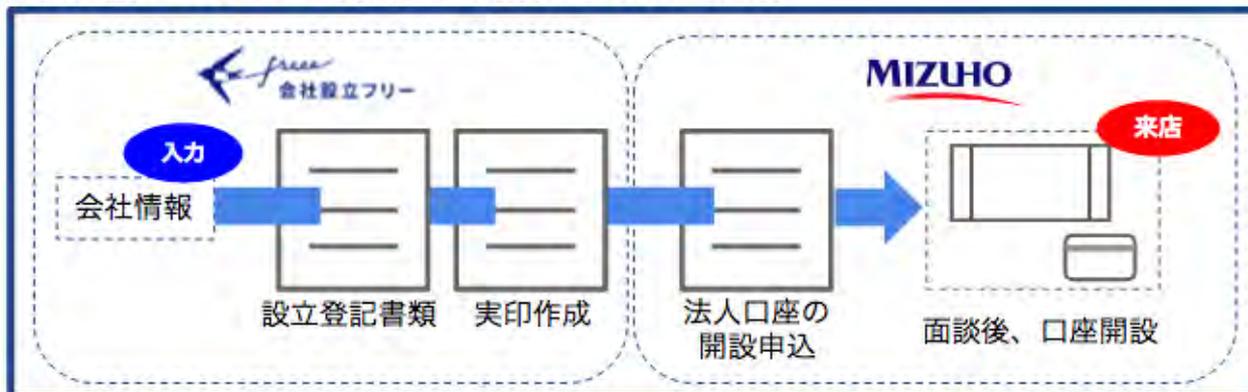


会社設立 free と連携し口座開設をカンタンに

従来の開業および来店手続きによる口座開設



「会社設立 free」を利用した開業および口座開設

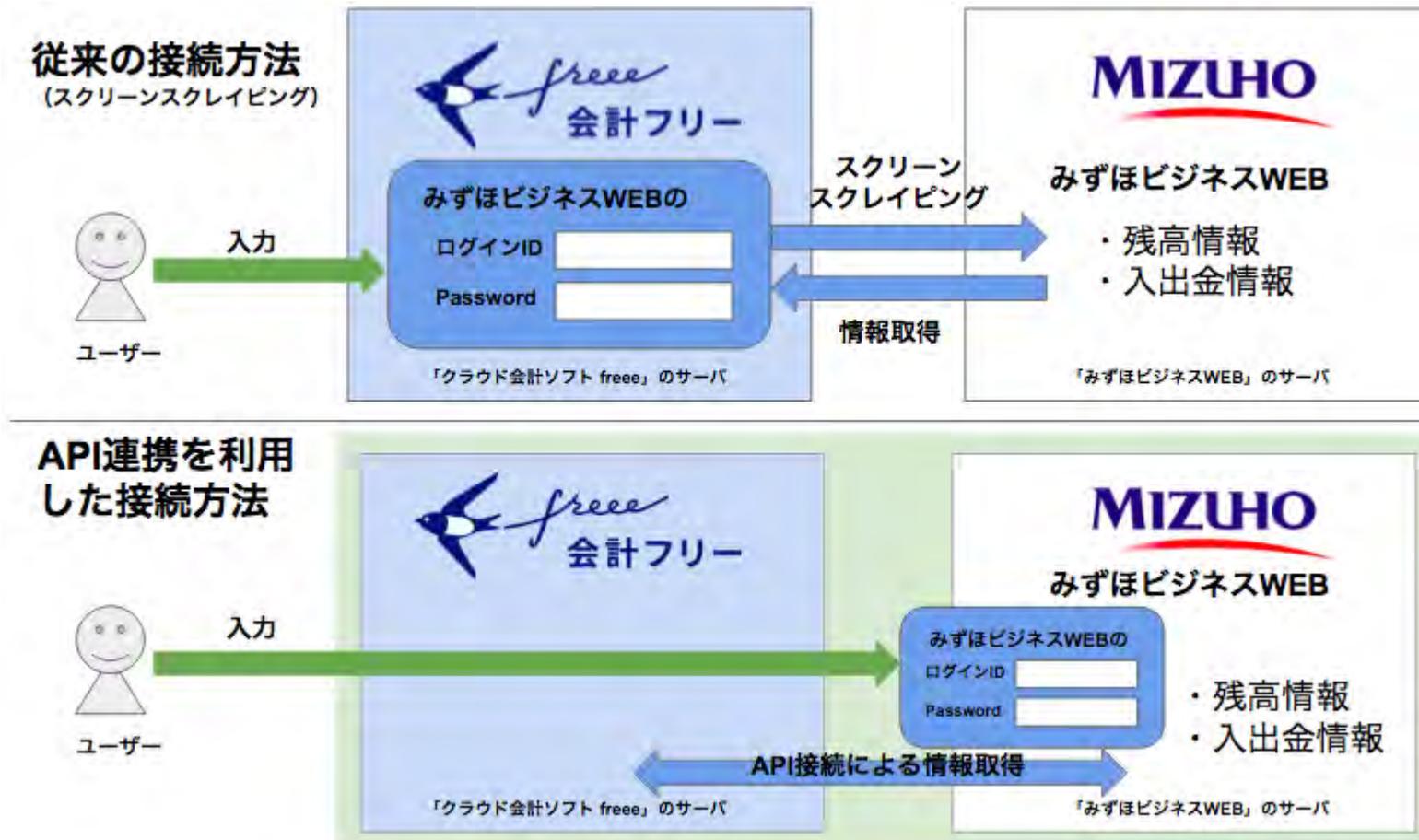


みずほ銀行とのAPI連携開始を発表



「みずほビジネスWEB」と公式API連携

- 国内初のメガバンクとの連携でユーザー利便性向上を目指す





入出金明細取り込みにおけるAPI連携を開始

- クラウド会計ソフトとして国内初となる振込手続き自動化も検討開始
- API（アプリケーションプログラミングインターフェース）を活用することで、よりセキュア・確実な連携が可能となる

住信SBIネット銀行

 SBI Sumishin Net Bank



- 明細取得に関するAPI連携を開始
- 振込業務における「クラウド会計ソフト free」とインターネットバンキングの直接連携について検討を開始*

*振込手続きにおける連携はクラウド型会計ソフトとして国内初



地元企業の生産性向上のためにfreeを積極的に紹介

- freeを利用しているユーザーが必要とする機能に限定して、通常よりも安価な価格設定(1,080円)でのIBを提供
- 両社で協力してインターネットバンキングの普及に取り組む



業務提携を開始

- freeユーザー専用のインターネットバンキングプラン提供*
- 会計事務所と共同での、地域の生産性向上施策
- NPO支援の推進

*金融機関がクラウド型会計ソフト向けに行う施策としては国内初

会計 free とJNBのワンタイム口座の連携

ワンタイム口座（バーチャル口座）との連携・特別プラン

従来の請求データと入金明細とを目視で照合し、回収状況を1件ずつ確認する消込業務（中小法人で月平均11時間以上かかっていた）を100口座月額216円からと低コストで自動化・効率化を実現。

1

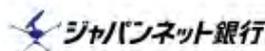
専用振込口座の割り当て
請求書作成



	A社宛 振込口座1
	B社宛 振込口座2
	C社宛 振込口座3
	D社宛 振込口座4

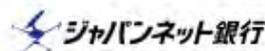
2

取引先からジャパンネット銀行
専用振込口座に入金



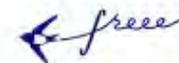
3

資金移動
ご契約者さま口座へ振り替え



4

Web入金通知
入金があった請求を自動消込



自動
消込

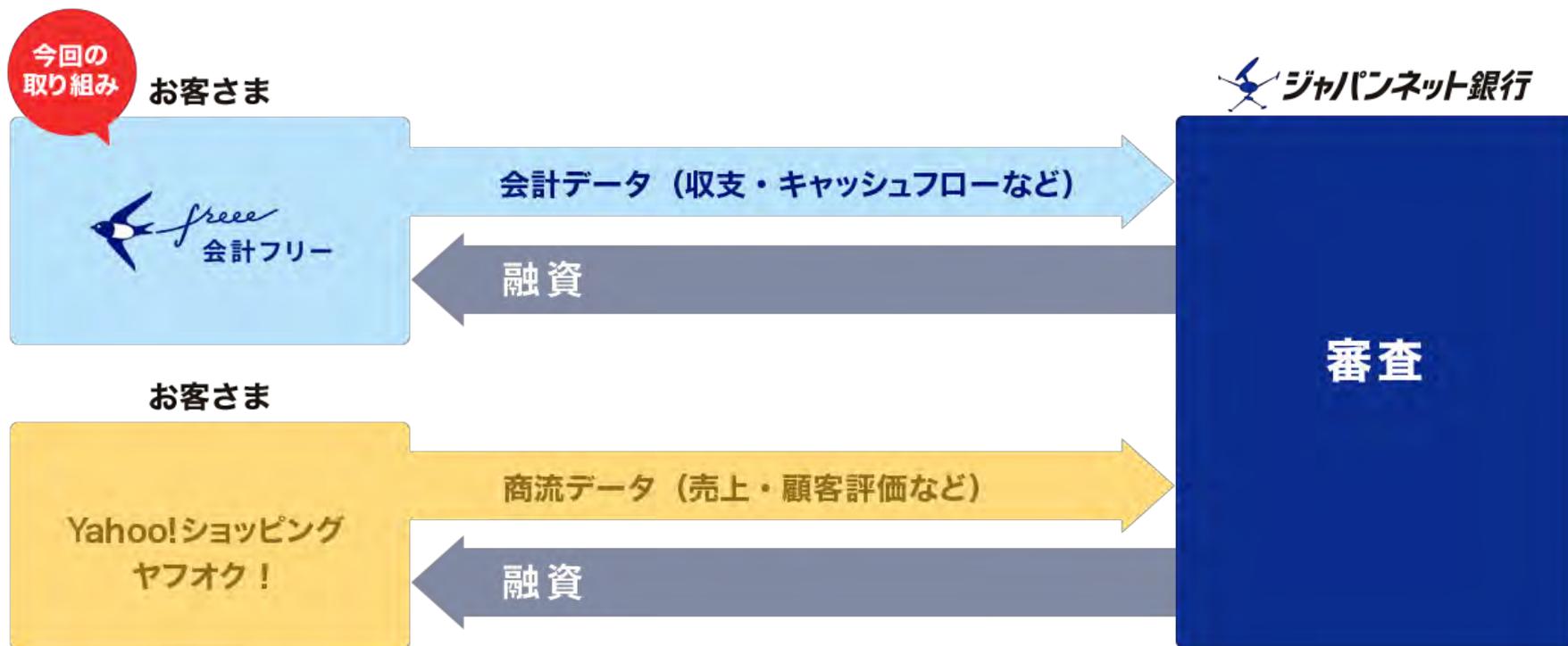
入金データ	取引(請求)データ
<input checked="" type="checkbox"/> 取引先A	<input checked="" type="checkbox"/> 振込口座1
<input checked="" type="checkbox"/> 取引先B	<input checked="" type="checkbox"/> 振込口座2
<input checked="" type="checkbox"/> 取引先C	<input checked="" type="checkbox"/> 振込口座3
<input checked="" type="checkbox"/> 取引先D	<input checked="" type="checkbox"/> 振込口座4

JNB による free データ活用特別ローン

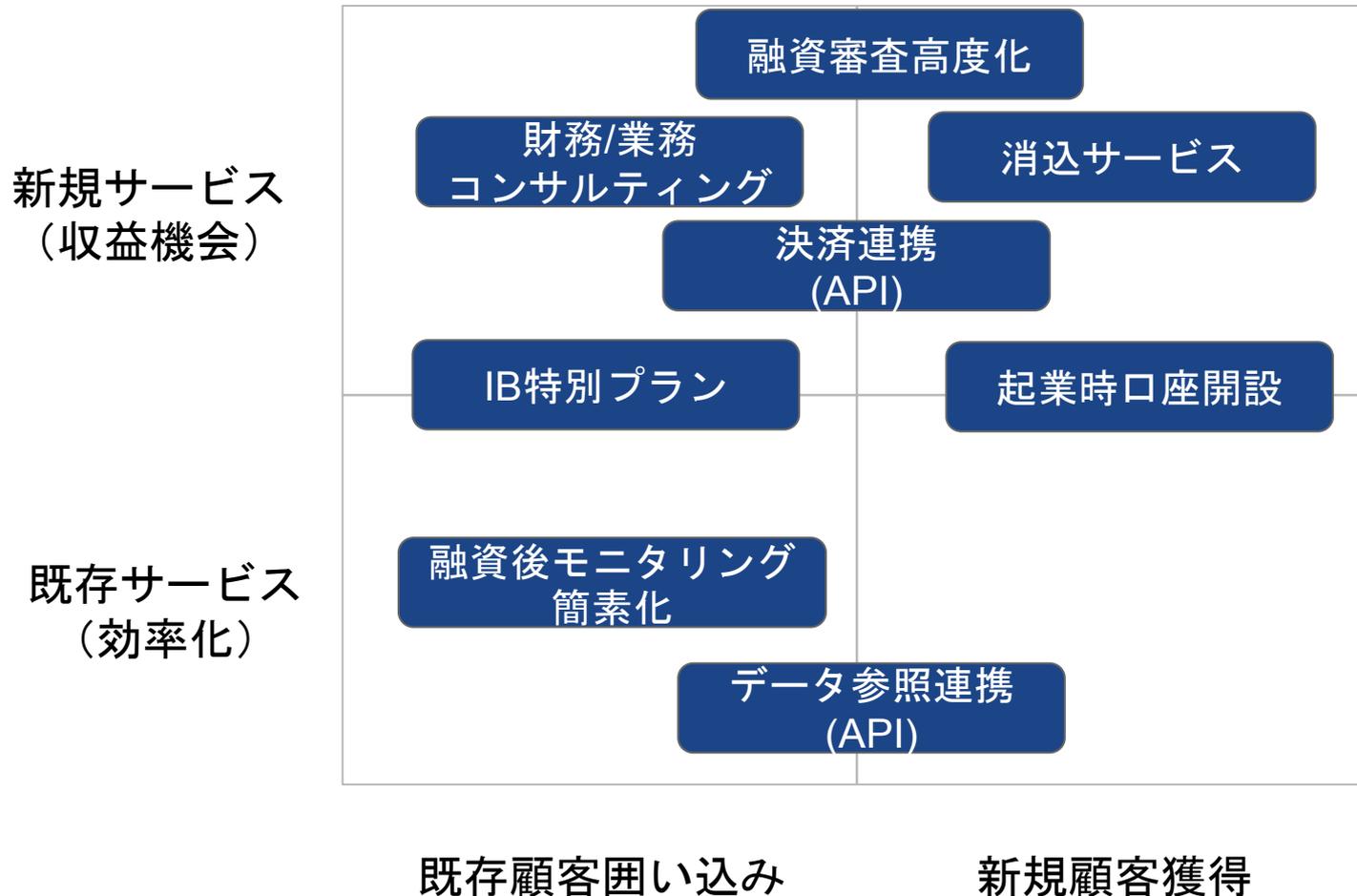


国内初！クラウド会計データを用いた事業評価による融資

- freeのデータを活用し、手間のない申込みと無担保融資を実現
- 最短で当日審査、翌営業日融資実行



金融機関 / freeeがwin-winとなる 関係を構築し、協業施策を実施



今後実現したい新しいユーザ体験



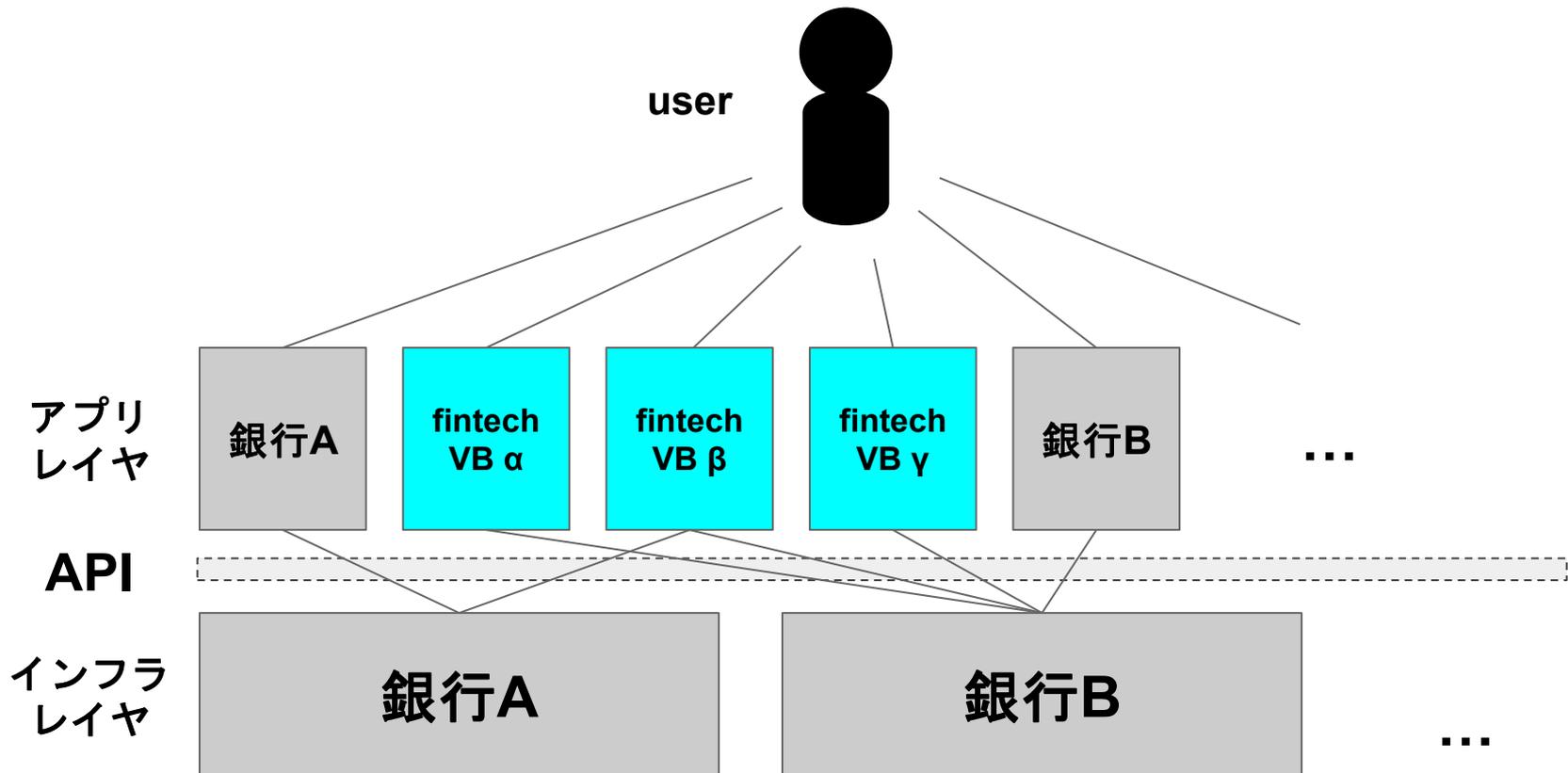
シームレス オンライン口座開設	<ul style="list-style-type: none">● 会計クラウドや比較サービス等普段使っているサービス上で、IBも含めてその場で開設が完了
安定明細取得・ 自動仕訳	<ul style="list-style-type: none">● ID/PWを預けずに、エラーなしの安定データ取り込みが実現● 意識すらすることなく自動仕訳や家計簿作成が行われ、正確なデータを融資審査等に活用可能
シームレス オンライン決済体験	<ul style="list-style-type: none">● 普段使っている業務アプリケーション上の振込ボタンでそのまま振込実行● 入金期限のアラートがモバイルアプリに飛び、そのままアプリから振込等
顧客が望む形 での通知受領	<ul style="list-style-type: none">● アプリ等にリアルタイムでプッシュ通知がくる● 他にも入金があったり残高が乏しかったりしたときにアラートをだす など
融資審査手続き の簡略化	<ul style="list-style-type: none">● 普段使っている業務アプリケーション上の融資申込ボタンを押下● 既に会計ソフトの中にあるデータをそのまま銀行の融資支援システムに取り込み
アルゴリズム融資	<ul style="list-style-type: none">● 融資申込ボタンを押すと会計ソフト内でアルゴリズムが走り、一定の与信判断をした上で銀行の融資支援システムに情報連携し、短期で審査完了● 融資後のモニタリングも会計ソフト側からアラートを投げることで効率化が可能

我が国の fintech 活性化に向けて

連携の基盤としての Banking API



- 様々なサードパーティのアプリケーションが提供され、金融インフラへのアクセスが多様化することが、ユーザの便益
- 銀行にとっては、オープンイノベーションによって、新サービスをスピーディに立ち上げるための基盤となる

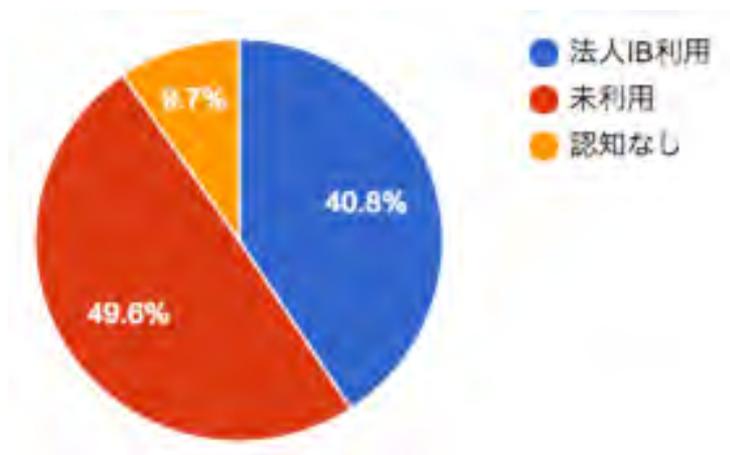


中小企業のIB普及率に課題あり



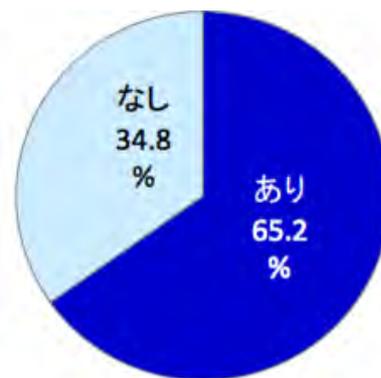
- 事業用のオンラインバンキングの利用率は、中小法人・個人事業主においては、ほぼ普及していないといっている低い水準
 - 「肌感では法人顧客のIB利用は正直10~15%がせいぜい」
(地銀担当者)

事業用オンラインバンキング
口座利用率

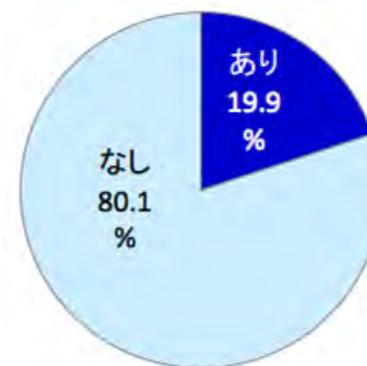


オンラインバンキング
利用率

全銀協調査
(インターネット調査)



日銀調査
(郵送調査)



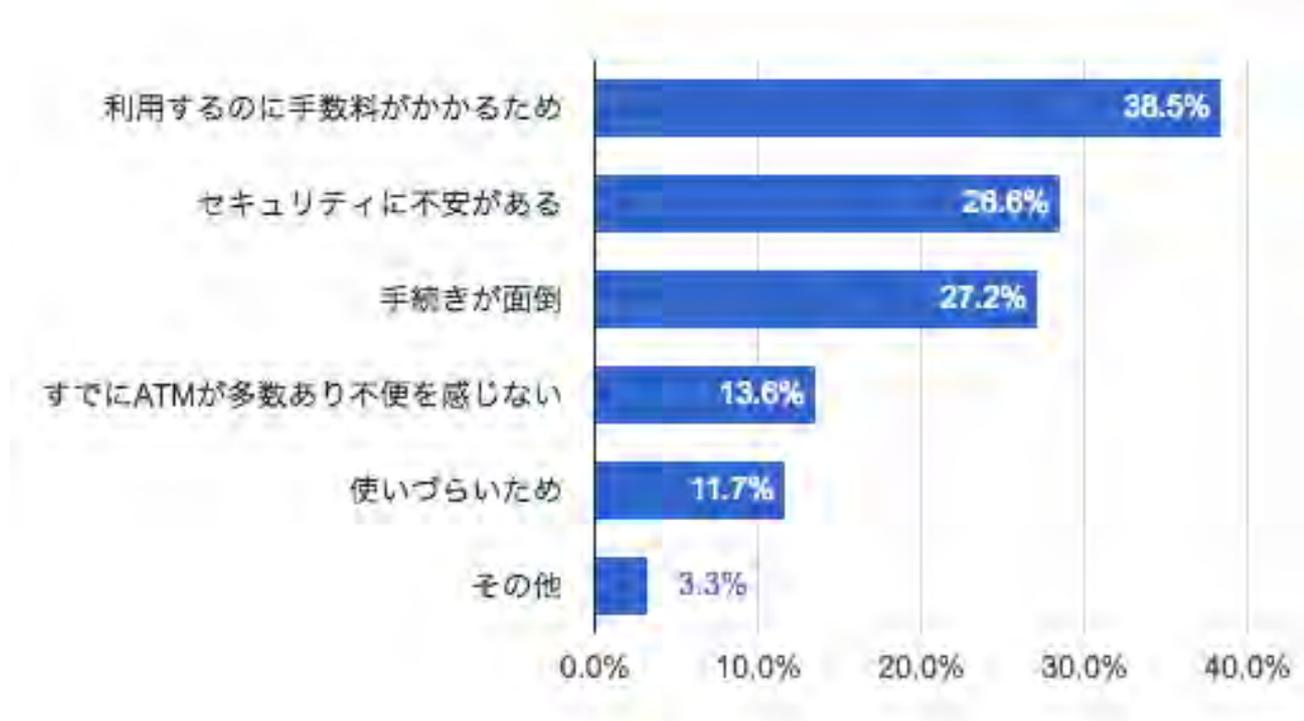
出所) 当社独自Web調査 (2016.5)

普及が限定的となっている背景



- 口座を維持するだけで費用が必要になることがハードルに
- 申し込み手続きにも改善余地あり

法人オンラインバンキングを利用しない理由



出所) 2016年当社Webアンケート調査、990社対象

3rd Partyと組んでの普及施策



- IB単体でなく、3rd Party Appと複合した訴求で普及促進する取組
 - 周辺アプリケーションとの組み合わせで付加価値を増すことで、改めて訴求・普及拡大を図れないか？
 - 同時に、申込みフローのUX向上や、月額負担の軽減なども重要



スモールビジネスに携わるみんなが
創造的な活動にフォーカスできるように